

平成24年2月23日

会員各位

美しい多摩川フォーラム事務局

平成23年度 第2回 三部会合同部会

◆ 2月23日(木)、美しい多摩川フォーラムの平成23年 第2回 三部会合同部会が開催されました。概要は下記のとおりです。

- ・開催日時：平成24年2月23日(木) 15時～16時半
- ・開催場所：立川グランドホテル 2F キャンティ
- ・出席者：部会長、副部会長、運営委員、アドバイザー、会員等

◎ 三部会合同部会の概要

1. 開会

2. 部会長挨拶

3. 経過報告 ※はビデオ放映

- (1) 第4回多摩川子どもシンポジウムの開催(12/17)【資料1】※
- (2) 「食と地域の交流促進対策交付金事業」第2回実行委員会開催(1/11)【資料2】
- (3) 平成24年度事業計画骨子・同予算(1/26 運営委員会)【資料3】
- (4) 東北・夢の桜街道推進協議会の設立(1/26 運営委員会)【資料4】
- (5) 「多摩川の歌」DVDの完成(1/26)【資料5】※
- (6) 第4回美しい多摩川フォトコンテスト審査結果(2/1)【入選作品を展示】
- (7) 第9回企業フィランソロピー大賞「特別賞：水辺のコミュニティ創造賞」
受賞式(2/16)【資料6】

～以下、当面の予定～

- (8) 東北・夢の桜街道推進協議会(美しい多摩川フォーラム)主催「東北・夢の桜街道～桜の札所・八十八ヵ所巡り」展(2/26～27：新宿西口イベント広場)【資料7】
- (9) 食と文化の交流イベント(農林水産省関東農政局平成23年度食と地域の交流促進対策交付金事業、2/28：立川グランドホテル)【資料8】
- (10) 第4回美しい多摩川フォトコンテスト入選作品展&野尻明美氏の淡彩スケッチ原画展(3/6～11：青梅市立美術館)【資料9】
- (11) 多摩川夢の桜街道・桜の札所巡り事業
 - ①3/24：「“美しき桜心の物語”の語り会」(語り部・平野啓子副会長)【資料10】
くシンポジウムと語り会～細野会長、平野啓子副会長、ダニエル・カール副

会長＞（調布市グリーンホール・大ホール）

②4/ 4：多摩川夢の桜街道“美しき桜心の物語”の語り会（世田谷区妙法寺、語り部・平野啓子副会長）

③4/ 5：多摩川夢の桜街道～桜の札所巡り／四十八番・都立野川公園～美しい多摩川フォーラム、リビング多摩、大谷桜守

④4/ 6：羽村・福生～美しい多摩川フォーラム、JR東日本、西武鉄道、多摩モノレール

⑤4/13：高尾・多摩森林科学園～美しい多摩川フォーラム、クラブツーリズム、大谷桜守

⑥4/18：多摩川夢の桜街道～桜の札所巡り／あきる野・龍珠院&光厳寺、瀬音の湯～美しい多摩川フォーラム、リビング多摩、大谷桜守

(12) 東北・夢の桜街道～桜の札所巡り事業（東北・夢の桜街道推進協議会）【資料 11】
第 1 回“美しき桜心の物語”の語り会／一番・福島県三春滝桜、語り部・平野啓子副会長)

4. 意見交換

- (1) 平成 2 4 年度事業計画骨子・同予算について【資料 3】
- (2) 「東北・夢の桜街道推進協議会の設立について【資料 4】
- (3) その他

5. 部会長総括・閉会

1. 開会（初参加者紹介および資料確認）

（事務局）

定刻になりましたので、美しい多摩川フォーラム平成 2 3 年度第 2 回三部会合同部会を始めさせていただきます。本日はじめて部会にご出席される方をご紹介します。

（西武鉄道株式会社 スマイル&スマイル部 小澤 良一 様）

小澤と申します。鉄道会社としては珍しい部署、スマイル&スマイル部から参りました。お客様の笑顔と従業員の笑顔という意味です。私共の担当は、色々な宣伝活動およびハイキング等のイベントを中心に活動しています。美しい多摩川フォーラムさんとは、JR、多摩モノレールさんと合同で、駅からハイキングでお世話になっています。今後とも、色々な形で協力していきたいと考えておりますので、よろしく願い申し上げます。

(多摩森林科学園園長 吉丸 博志 様)

昨年10月、筑波から赴任しました吉丸と申します。桜の季節が近づき、我々も今年は張り切っております。先ほどチラシを配布させていただきましたが、「東北・夢の桜街道」プランに合わせ、我々も、「東北の桜に会いにいきましょう」ということを今年は強く打ち出していく予定です。色々とお世話になることもあると思いますが、どうぞよろしくお願いいたします。

(事務局)

有り難うございました。それでは、細野地域経済活性化部会長からご挨拶をお願いいたします。

2. 部会長挨拶

(細野地域経済活性化部会長)

平成23年度・第2回三部会合同部会でございます。今日の朝日新聞1面に、第2次、第3次補正予算がなかなか執行できていないと載っていました。国では、東北の復興に対して遅々として進んでいない感じがしますが、当フォーラムでは、遅々どころか、さっそうと始まっています。詳細に関しては、後ほど事務局から説明があると思いますが、夢のある活動を東北にお届けするために、皆様にはなお一層のご協力をお願いしたいと思います。

それでは、事務局より経過報告をお願いします。

3. 経過報告 (事務局)

はい、12月の三部会合同部会以降の当フォーラムの活動につきましては、お手元の資料にて時系列でお示ししております。それでは、はじめに(1)番、(5)番をビデオにまとめております。(5)番については、「多摩川の歌」DVD完成披露になります。朗読、独唱、合唱、ボサノヴァ・バージョンの4つのパートから構成されています。それでは、前方のスクリーンをご覧ください。

(1) 第4回多摩川子どもシンポジウムの開催 (12/17)

(5) 「多摩川の歌」DVDの完成 (1/26)

— ビデオ放映 —

経過報告を続けます。

(3) 平成24年度事業計画骨子・同予算 (1/26 運営委員会) 【資料3】

【資料3】をご覧ください。これは1月26日開催の第2回運営委員会において

承認された内容になります。内容については、後ほど意見交換でご説明します。

(4) 東北・夢の桜街道推進協議会の設立 (1/26 運営委員会) 【資料4】

【資料4】をご覧ください。こちら1月26日開催の第2回運営委員会において承認された内容になります。内容については、後ほど意見交換でご説明します。

(5) 「多摩川の歌」DVDの完成 (1/26) 【資料5】※

【資料5】をご覧ください。これが、DVDのジャケットおよびブックレットになります。会員の皆様にご案内している、「多摩川の歌」DVDまたはCDお申込書に、どちらか希望を記して、お早めに事務局へお申込みください。

なお、今回の制作にあたりましては、当フォーラムの館監事が社長を務める、多摩ケーブルネットワークさんに、映像面で無償のご協力をいただきました。また、青梅信用金庫の関連会社様より100万円のご寄付をいただき、DVD制作に充てさせていただきました。

(6) 第4回美しい多摩川フォトコンテスト審査結果 (2/1) 【入選作品を展示】

今回の作品応募点数は、「多摩川の風景・人々部門」が135点、「多摩川夢の桜街道部門」が85点で、合計220点の応募がありました。

審査結果でございますが、「多摩川の風景・人々部門」、「多摩川夢の桜街道部門」の各部門において、最優秀賞が1点、優秀賞が1点、入賞が3点選ばれました。また、佳作が「多摩川の風景・人々部門」より15点、「多摩川夢の桜街道部門」より5点選ばれました。この審査結果は、美しい多摩川フォーラムのホームページに公開しておりますが、本日は上位の作品を持参し、サイドのテーブルの上に並べておりますので、後ほどどうぞご覧ください。

**(7) 第9回企業フィランソロピー大賞「特別賞：水辺のコミュニティ創造賞」
受賞式 (2/16) 【資料6】**

【資料6】をご覧ください。フォーラムの取組みが評価され、このたび、日本フィランソロピー協会の「第9回企業フィランソロピー大賞」贈呈式の席上で、青梅信用金庫が特別賞：水辺のコミュニティ創造賞を受賞することができましたので、ご報告いたします。

～以下、当面の予定～

(8) 東北・夢の桜街道推進協議会 (美しい多摩川フォーラム) 主催「東北・夢の桜街道～桜の札所・八十八ヵ所巡り」展 (2/26～27：新宿西口イベント広場) 【資料7】

【資料7】をご覧ください。今週末から2日間、新宿駅西口広場のイベントコーナーにおきまして、東京都様のご後援をいただき、A1サイズのパネル100枚を用いた大パネル展を開催する予定です。東北の美しい桜の名所88カ所とあわせ、多摩川夢の桜街道の名所も紹介する予定です。来場者には、「東北・夢の桜街道」の小冊子を配布し、アンケートにお答えいただいた方には「東北・夢の桜街道」のマップを差し上げる予定です。また、本日細野部会長のお手元に置かせていただきました、三栄書房から出版された「東北・夢の桜街道」公式ガイドブックも、会場で販売する予定です。

(9) 食と文化の交流イベント（農林水産省関東農政局平成23年度食と地域の交流促進対策交付金事業、2/28：立川グランドホテル）【資料8】

【資料8】をご覧ください。来週火曜日に、農林水産省関東農政局平成23年度食と地域の交流促進対策交付金事業として第1回目のイベントが、立川グランドホテルで開催されます。第1部では、小澤実行委員長が中間報告を発表し、ローフード・インストラクター酒井美保子さんより、食に関して講演をいただきます。また文化より、平野啓子さんのお弟子さんによる『語り』を披露していただきます。第2部では、「奥多摩郷土弁当のレシピ案の発表&桜スイーツの検討」があります。スイーツに関しては検討が始まったばかりですが、弁当に関しては開発が進んでおります。会場で実際に試食もしていただけます。ご興味ある方は、ぜひ会場に足をお運びください。

(10) 第4回美しい多摩川フォトコンテスト入選作品展&野尻明美氏の淡彩スケッチ原画展（3/6～11：青梅市立美術館）【資料9】

【資料9】をご覧ください。早いもので、今年で第4回目を迎えます。3月6日から11日まで、青梅市立美術館において、フォトコンの入選作品展とあわせ、当フォーラムの会員であります野尻明美さんの淡彩スケッチ原画展を開催します。こちらもぜひ足をお運びください。

(11) 多摩川夢の桜街道・桜の札所巡り事業

【資料10】をご覧ください。①については、東北・夢の桜街道のプレイベントでもあります。

- ①3/24：「“美しき桜心の物語”の語り会」（語り部・平野啓子副会長）【資料10】
＜シンポジウムと語り会～細野会長、平野啓子副会長、ダニエル・カール副会長＞（調布市グリーンホール・大ホール）
- ②4/4：多摩川夢の桜街道“美しき桜心の物語”の語り会（世田谷区妙法寺、

語り部・平野啓子副会長)

- ③4/ 5 : 多摩川夢の桜街道～桜の札所巡り／四十八番・都立野川公園～
美しい多摩川フォーラム、リビング多摩、大谷桜守
- ④4/ 6 : 羽村・福生～美しい多摩川フォーラム、JR東日本、西武鉄道、多摩
モノレール
- ⑤4/13 : 高尾・多摩森林科学園～美しい多摩川フォーラム、クラブツーリズム、
大谷桜守
- ⑥4/18 : 多摩川夢の桜街道～桜の札所巡り／あきる野・龍珠院&光厳寺、瀬音
の湯～美しい多摩川フォーラム、リビング多摩、大谷桜守

(12) 東北・夢の桜街道～桜の札所巡り事業（東北・夢の桜街道推進協議会）【資料11】
第1回“美しき桜心の物語”の語り会／一番・福島県三春滝桜、語り部・平野啓
子副会長)

【資料11】をご覧ください。4月21日より、福島県三春滝桜において、当フ
ォーラム副会長で語り部・平野啓子さんによる語り会を開催します。募集200
名のところ、現在150名ほどの応募がありますので、興味のある方は、お早目
にお申し込みください。

以上で経過報告を終わります。細野部会長、よろしく願いいたします。

(細野部会長)

盛り沢山の報告でした。フィランソロピーの特別賞を受賞したことはとても素晴ら
しいことだと思います。事務局からの経過報告でご質問、ご意見などございませ
ないようですので、意見交換に進めます。事務局から説明をお願いします。

4. 意見交換（部会長）

(1) 平成24年度事業計画骨子・同予算について【資料3】

(事務局)

- ・ 【資料3】をご覧ください。こちらについては、第2回運営員会において承認され
ましたが、簡単に説明させていただきます。
- ・ 平成24年度事業計画骨子・同予算（事務方素案）ですが、収入の部として、会費
は190万円を見込んでおります。寄付金は、青梅信用金庫様より800万円、交
付金は、農林水産省関東農政局より250万円、前期繰越金（見込額）は110万
円となり、合計で1,350万円となります。一方、支出の部ですが、運営費とし
て、総会35万円他、合計で325万円となります。活動費としまして、夢の桜街
道・札所巡り事業65万円他、合計で1,002万円となります。この中には、食
と地域の促進対策事業250万円、東北・夢の桜街道プラン170万円を含んでい

ます。次期繰越金（見込額）は、23万円で、支出の合計は1,350万円となります。

- 次のページをご覧ください。平成24年度事業計画のタタキ台（候補案）ということで、経済・環境・教育文化の軸ごとにまとめています。基本的には、23年度の継続事業ということになりますが、環境の⑦多摩川“水”大学講座については、新規事業になります。5月から10月にかけて、6回のシリーズものとなり、小倉副会長に環境講座を開いていただく予定ですが、費用はかからないとのこと。
- 次のページをご覧ください。平成23年度事業予算執行状況（12月末時点）ですが、当初予算、修正予算（昨年7月に開催された臨時運営委員会で承認されたもの）、12月末執行実績、24年度3月着地見通しに分けております。金額が大きく変動しているものについて、補足説明させていただきます。まず、収入の部ですが、12月末執行実績の欄に仮受金12,000円とあります。昨年3月に、震災の影響で開催中止となったボサノヴァ・コンサートについて、チケット代払い戻しの作業を進めておりましたが、4名分については現在も払い戻しにお見えになっていないため、東北復興支援として日本赤十字社に寄付をしたいと考えておりますので、3月末の時点でゼロになる予定です。支出の部ですが、ホームページの見直し、3月末着地見通しで600,000円となっております。これは、ソフトの開発費が予定より若干かかりそうということで、100,000円ほど上ぶれる可能性があります。また、通信費等について、3月末着地見通しが700,000円となっておりますが、「多摩川の歌」CDおよびDVDの郵送費が追加されています。これまで、運営委員会や部会の開催通知文は、ヤマト運輸の宅配メール便を利用していたため、一通80円と、安く抑えることができていましたが、昨年8月末にヤマト運輸さんから一通の手紙が届き、「開催通知等の信書は、郵便扱いとなります」とありました。事務局としても、法令順守のため、費用増はやむを得ないと考えました。活動費についてですが、中学生対象総合教育文化事業として、予算200,000円から着地見通し40,000円に減っています。これは、ESD（持続可能な開発のための教育）を展望し、当初は中学校3校でやりたいと考え、200,000円を予算計上しておりましたが、最終的にはあきる野市立増戸中学校1校のみになったため、40,000円で済みました。続いて東北・夢の桜街道プランですが、修正予算1,700,000円に対し、2,100,000円と400,000円上ぶれしております。これは、昨年10月1日にこのプランを対外公表したところ、大変反響が大きかったため、チラシやポスターを大幅に増刷し、配布したことによるものです。
- 次のページをご覧ください。平成23年度活動実績&今後の予定を、ご参考までにお付けしました。事務局からの報告は以上です。細野会長よろしくお願いたします。

(細野部会長)

それでは皆さん、何かご質問、ご意見はございますか。ないようですので、東北・夢の桜街道推進協議会の設立について、事務局より説明をお願いします。

(2)「東北・夢の桜街道推進協議会の設立について【資料4】

(事務局)

【資料4】をご覧ください。こちら先般の運営委員会において承認が下りたものですが、本日初めて「東北・夢の桜街道推進協議会」という言葉を聞かれる方もいらっしゃると思いますので、【資料4】の設立趣旨を読み上げます。

人口減少時代の到来により地域経済が疲弊するリスクが高まりつつある状況下、「美しい多摩川フォーラム」(会長・細野助博)では、「地域の活性化と自立」を図っていくためには、地域に暮らす人々が、多摩地域全体の将来の姿を見据えた地域づくりに取り組むことが何より大切であると認識し、多摩川をシンボルに、美しい多摩づくりを目指す多摩川圏民運動を推進し、行政と民間の広域連携による持続可能な地域社会づくり運動を展開して参りました。

こうした矢先に発生した東日本大震災による東北地方の未曾有の事態に鑑み、美しい多摩川フォーラムでは、地域づくり団体として、これまで「交流人口の増加」による地域経済活性化策として推進してきた『多摩川夢の桜街道～桜の札所・八十八ヵ所巡り』運動のスキームが、観光振興による東北再生の一助になるとの思いから、「夢の桜街道」をキーワードに姉妹関係にあった「美しい山形・最上川フォーラム」(会長・柴田洋雄)に連携を呼び掛け、『東北・夢の桜街道～桜の札所・八十八ヵ所巡り』を考案しました。そして、東北6県をはじめ、運輸・旅行会社、金融機関等からもご後援をいただき、平成23年10月1日、人々から最も共感が得られる東北の美しい「桜」を東北再生のシンボルに掲げ、地域を彩る桜を愛でながら札所を巡ることで、一日も早い東北復興や地域の活性化に繋がりたいと考える『東北・夢の桜街道プラン』を公表致しました。

ただし、こうした両フォーラムの観光振興による東北復興への取り組みを更に実効あるものとするためには、全国から観光客をお連れし、心のこもったおもてなしをする仕掛けを伴った「東北・夢の桜街道」運動を、全国的に幅広く展開していく必要があります。そのためには、「相互扶助の精神」で結ばれる、全国ベースでの行政と民間の広域的な連携・協働による地域づくり運動として、組織的に盛り上げていく必要があると考えました。

そこで、上記の基本的な考え方に賛同する各主体が結集し、東北復興のために、全国的なネットワークを活かした広域連携組織として、平成23年12月1日付で「東

北・夢の桜街道推進協議会」を立ち上げることと致しました。この協議会は、東北の美しい「桜」をシンボルとする「東北・夢の桜街道」運動を通じ、東北の行政区域を様々に越える形で地域の人々が「絆」を深め、ひいては地域の共生・発展に繋がるようにと考えております。また、こうした広域的な地域づくり運動の息の長い継続的な取り組みを通じ、地域に暮らす人々の自信や誇りが醸成するようにも努め、以って、東北の豊かな自然と文化の次代への継承・発展にも力を注いで参ります。

裏面は、協議会の体制です。なお、具体的な事業活動につきましては、東京都の後援を受けまして、2月26日から27日の2日間に亘って、新宿西口広場イベントコーナーにおいて、東北の復興支援、ならびに東北への観光誘致を目的に、「東北・夢の桜街道運動」と「桜の札所・八十八カ所」をPRするためのパネル展を開催するとともに、そのオリジナル・モデルである「多摩川夢の桜街道～桜の札所・八十八カ所」のPRを行う予定です。

事務局からの説明は以上です。細野会長、よろしくお願いたします。

(細野部会長)

ただいまの事務局からの報告に対し、何かご質問、ご意見はございますか。この協議会はどれくらい続くのですか？

(事務局)

今後、少なくとも10年間は続けていきたいと思っております。

(藤井様)

「桜」は重要なテーマですが、開花時期は限られています。東北支援を考えると、歴史や史跡があるので、それらを加味したほうが長続きするのではないかと思います。

(細野部会長)

有り難うございます。観光は春ばかりではない、四季を通じて行うべきだというご意見でした。事務局から何かありますか？

(事務局)

これまでもそのような意見はいただいているのですが、まずは「桜」を定着させ、いずれは秋の紅葉等、四季折々を網羅していきたいと思っておりますが、それまで時間的な猶予をいただけますよう、お願いたします。

(山崎副部長)

趣旨は良く分かります。予算も妥当な金額だと思いますが、気になるのが、趣旨に賛同していただいている一般の会員の方たちへの還元はどうなっているのでしょうか。

(事務局)

新宿のイベント開催時に無料で配布させていただく小冊子と、東北・夢の桜街道のマップ、そして多摩川夢の桜街道マップを、全ての会員の方に郵送させていただく予定です。

(細野部長)

他にご質問、ご意見はありますか。

(福田部長)

広報の仕方、PRの仕方が足りない気がします。せっかく良いプランを計画しても、一部の人にしか知られないのはもったいないと思います。

(細野部長)

私たちは運動体であり、事務局や一部の人たちだけで運営しているものではありません。皆さんが参加し、力を合わせていく必要があります。この件について、皆さんからご意見をいただきたいと思いますが、いかがでしょうか。

(大田観光協会 栗原様)

今日皆さんに1枚紙をお配りしました。大田区には多摩川夢の桜街道の札所が4カ所あります。そのPRとして毎年桜のイベントを開催していますが、今年はそれにプラスして、スタンプラリー、ガイドウォーク付きツアーを行います。それに参加していただいた方の中からプレゼントとして、はとバスツアーに5組(10名様)をご招待する予定です。この狙いは、大田区のPRだけではなく、東北を応援したいという皆さんの気持ちを表現することにあります。まだまだ企画段階ですが、これをもっと広めていきたいので、来年は大田区にある城南信用金庫さん、さわやか信用金庫さんとも連携して、大田区一体となって東北を応援していきたいと考えています。

(細野部長)

有り難うございます。今日は立川商工会議所の方にもご出席いただいておりますので、この件についてお話いただけますでしょうか。

(立川商工会議所 小松専務理事)

色々な報告を聞かせていただきましたが、これだけ盛り沢山の運動体となっていることに、感銘を受けているところです。震災支援の輪が広がっていることも事実ですが、東京都でも今年度に引き続き、来年度、福島に旅行する都民には、1泊3,000円の補助をする方向で動いているようです。もしツアーを組むようであれば、一般の市民も動員できるような仕組み作りがされると良いと思います。

(細野部会長)

立川は多摩の拠点の1つなので、これからもよろしく願いいたします。他にいかがですか。

(全日空 福原様)

私たちが取り組んでいることについてご報告させていただきます。私もこの活動をいかに知っていただくかが重要だと思っています。我々航空会社として、全国の方にいかにこの動きを知ってもらうかということで、3点考えました。①機内誌「翼の王国」に3月の1ヵ月間、東北・夢の桜街道の記事を掲載します。1ヵ月で約400万人の方が搭乗されるので、関心を持ってもらえるとと思います。②ANAを利用する方がご覧になるサイトの東北ページに、東北・夢の桜街道の記事を掲載します。飛行機に乗らないお客様へのPR効果が期待できます。③桜は毎年、天候により咲く時期がずれるため、固定のツアーが難しく、お客様が常に時期を見ながらいつでも航空機と宿を予約できるようなシステム作りをしています。

(井上アドバイザー)

フィランソロピーの大賞は、本来は美しい多摩川フォーラムが受賞していたと思います。何故かと言うと、発想が素晴らしく、仕掛けがすごいからです。日経が言うように、文句も出ないし、電光石火です。私が住む青梅は、保守的で落ち着いた雰囲気があり、地味なイメージがありますが、それを払拭するような企画です。全国版の日経に記事が載っていましたが、日経自身がびっくりしたと思います。一信用金庫が、地域経済活性化に一発かました訳ですから。これは、美しい多摩川フォーラムが全体の地域を動かしている大きな成果だと思っていますので、このきっかけを「皆で大事に育てていこうじゃないか」と思っています。

(細野部会長)

私たちは言えないのだけれども、こういう形で言っていただくと嬉しいものですね。他にありませんか。

(事務局)

新宿のイベントにご後援をいただいている、東京都の上本様にご出席いただいておりますので、ご意見をいただければと思います。

(東京都 観光部 上本様)

先ほどお話が出ましたが、東京都では、「被災地応援ツアー」として、東北地方に旅行される都民の皆様に1泊3,000円の助成をさせていただいています。来年度も、決定ではないのですが、福島県への旅行に対する助成を考えています。「東北・夢の桜街道」プランとも方向性が一緒ですので、今後ともこの運動を進めていっていただきたいと思います。

(細野部会長)

有り難うございました。東京都も推進協議会の構成員ですので、今後ともご協力をお願いいたします。他に何かありますか。

(事務局)

今日初めてご出席いただいている西武鉄道の小澤様、ここまで何かご意見はございますか。感想でも結構です。

(西武鉄道 小澤様)

皆さんが色々な形で復興支援にご尽力いただいていることが分かりました。我々も既実践はしていますが、このフォーラムを通じてご協力できることを考えていきたいと思っておりますので、よろしくをお願いいたします。

(細野部会長)

他にいかがですか。ないようでしたら、その他について、事務局より説明をお願いいたします。

(3) その他

(事務局)

先ほどと重複してしまうかもしれませんが、ご出席いただいた皆さんから席上配布されたチラシにつきまして、ご説明をお願いいたします。

(多摩森林科学園園長 吉丸様)

当園のサクラ保存林では、日本国内の栽培品種や名木を収集し、毎年多くのお客様に喜んでいただいています。これまでは、沢山の品種を漠然と見ていただくだけでし

たが、今年から何かに的を絞って紹介していきたいと考えていた矢先に、「東北・夢の桜街道」を知り、「今年はこれだ！」ということで、お配りしたチラシの通り、企画を考えました。東北の美しい桜を知っていただくため、2つのことを予定しています。①東北地方の桜の本体の挿木から取ったクローンがあるので、それを巡る地図を作製し、入園者に配布し、同時に「東北・夢の桜街道」と関連している事もPRしていきたいと考えています。②東北の桜の写真展を開催します。

先日、フォーラム事務局に無理にお願いし、「東北・夢の桜街道」のポスター数枚とチラシを3,000部いただきました。ポスターは園内に掲示し、チラシは入場客に配る予定です。3～4月だけで、約4万～5万人の、桜を好きな方が来場されるので、良いPRができるのではないかと考えています。

(山崎副部長)

NPO法人おさかなポスト、ガサガサ水辺の移動水族館、その他有志が集まり、急遽ですが、3月11日に稲田公園前の多摩川で、東日本大震災の追憶と鎮魂、復興を祈る多摩川灯籠流しを開催することになりました。今のところ1,000～1,500人ほど集まる予定です。東北に行ったことのない子どもたちでも、東北に対する想いは沢山あるので、その想いを表現する場を作りたいと思っています。お金がないので、賛同してくれる人から資金を集めて材料を買っています。今日ご出席いただいている企業さん、団体さんでご協力いただけたところがあれば、よろしく願いいたします。

(馬淵運営委員)

2月26日～27日に新宿で開催する東北・夢の桜街道のパネル展ですが、うちの団体で協力できるとすれば、多摩川のジュニア・ガイドを500～1,000部用意し、来場者に配ることもできます。また、「多摩川だより」3月号には、宮坂事務局長の記事を掲載し、東北・夢の桜街道をPRする予定です。

(宮坂事務局長)

東北・夢の桜街道のパネル展ですが、多摩川夢の桜街道のパネルも併設され、美しい多摩川フォーラムの詳しい仕組みについても紹介する予定です。広報について、色々なご意見が出ていますが、大量にやればお金がかかりますから、どういう風に仕掛けをしていくかが重要なポイントです。今回、幸いなことに、各方面から声を掛けていただき、全日空では機内誌「翼の王国」、JR東日本では社内報「トランヴェール」、高速道路では、各サービスエリアに無料配布される情報誌の巻頭2ページに記事が掲載されます。また東京新聞では、3月11日(日)のサンデー版に、見開き全面を使って、東北・夢の桜街道の記事を無料でカラー掲載する予定です。この新聞は、

350万部～600万部発行される予定です。さらに今日の午前中には、フジテレビの取材を受け、26日（日）午後5時30分～6時のニュース番組で放映される予定です。そのほかにも、中小様々なところから取材依頼が殺到しており、一市民運動が、皆さんの協力でPRできている、稀有な例ではないかと思えます。東日本大震災は、まさに国難であり、当フォーラムも国民的運動に発展させるべく取り組みたいと思っています。

（山崎副部長）

新宿のパネル展では、フォーラムの入会申込書を配る予定はあるのでしょうか。せっかく良い場所で良いことをやるのですから、会員を集めたほうが良いのではないのでしょうか。また、チラシ類もおかせてもらえると有り難いです。

（宮坂事務局長）

今回のパネル展は、色々な制約があるイベントなので、チラシ類を置くにも事前に許可が必要となります。イベントが直前にせまっているため、誠に申し訳ありません。

5. 部会長総括・閉会（部会長）

（福田部会長）

皆さま、本日も様々なご意見をいただき、有り難うございました。このフォーラムが、短期間でこれだけ大きくなり、素晴らしいことだと思います。広報についても、色々ところで様々な努力をしていることが分かりました。東北・夢の桜街道は、とてもタイムリーな企画だと思いますし、一過性ではなく10年間続けるということも良いことだと思います。被災地のがれきは、現在東京都しか受け入れしていません。皆が「悲しみや苦しみを共有しよう」と言いますが、聞く耳持たない人も多くいます。そんな中、こういう企画ができ、皆の気持ちを少しずつ変えることができるのではないかなと思います。今後も皆さんと一緒に頑張っていきたいと思います。本日は有り難うございました。

以 上